



a cup of water ニュースレター

第1号 2008年4月

みなさん、こんにちは！ タイの孤児院 ハッピーホームの子ども達に対するみなさんのご支援に心から感謝します。

ニュースレターでは、子どもたちの存在を少しでも近くに感じていただくために、現地の様子をお伝えするとともに、a cup of water の支援状況や今後の計画などを報告させていただきたいと思っています。

クリスチャンハッピーホーム ニュースレター 2008年12月号より

*以下、現地でハッピーホームを運営しているローズさんのニュースレターからの抜粋です

この度“クリスチャンハッピーホームリーグ2007”（ホーム対抗のスポーツ大会）が終わり、チェンセンホームが優勝、チェンライホーム2位、トンホーム3位となりました。大変な盛り上がりで、一番盛り上がったのは私たち大人ではないか、という位楽しみました。12月の最後の日曜日は3つのホームが共に礼拝を持ち、たくさん子ども達が自分の罪を言い表し神様の赦しを体験しました。聖霊の優しい働きの時でした。私のできるただひとつの事、それは神の愛の前にひざまずき、命の書に彼らの名前が書かれたことを喜びことでした。私たちや、子ども達のために祈ってください本当にありがとうございます。

その後、何人かの訪問者の方々や外国からのチームを迎えました。訪問客はいつも新鮮です。こちらの子どもの健康診断をしていただけてだけでなく、伝道旅行にも同行してくれました。子どもたちの中のティーンの女の子たちは、生活のためにゴミを集めている町の子に主の愛を分かち合おうと決め、「ストリートチルドレンの友」と呼ばれている団体に出向いたのです。医療チームがみんなの体をチェックしている間に、彼女たちはその子どもたちを集めイエス様の歌を教えたり、自分たちの証をしたのです。

孤児がストリートチルドレンに伝道するなんて考えられますか？神様の御業としか言えません！子ども達はみんなその子たちを好きになり、12月24日には、本当のクリスマスの意味を分かち合い、ゲームをしたり、昼食を与え、プレゼントも用意します。中身は石鹸、ハミガキ粉、洗剤やもちろんお菓子です。子どもたちはもちろん甘いものを好みますが、彼らはひどい皮膚の病にかかっており、清潔にすることが大切なのです。どうかイエス様の誕生の意味を彼らに分ち合うことができ、ただ、愛を流しだすことができるように祈って下さい。



ミャンマーとラオスとの国境地帯にチェンライ、チェンセン、トンの3つのホームがあります。ローズさんはチェンライホームに住んでおり、チェンセン、トンの2つのホームではそれぞれタイ人のご夫妻が中心となって子ども達のお世話をしています。3つのホームには約120人の子どもたちいます。

5月、子ども達が新学期を迎えます！

タイでは4月が一年で最も暑い時期で、今子ども達の学校は夏休みに入っています。

休みの間、子ども達はホームにいる子もいれば、身を寄せる家族や親せきがいる場合は数日間、出身の村に帰る子もいます。また職業専門学校に通う子どもは、この期間少しでもアルバイトをして学費を稼ぐ子どももいるそうです。

10月にハッピーホームを訪問した際も子ども達は学校が休みだったのですが、ホームにある敷地の草むしりをしたり、小さな子どももみんな協力して一生懸命お手伝いをしていました。

5月中旬になると子ども達の新学期が始まります。(タイの学校は2学期制で5月中旬～10月までが1学期、11月～3月までが2学期です。) a cup of water では新学期に向けて4月末に第1回目の送金をする予定です。皆様のご支援に心から感謝します。子ども達が学校に行くための必要が満たされ、元気に新学期を迎えることができるようお祈りください。

子どもの紹介



はにかみやさんで繊細な心をもったサラちゃんは、踊りが大好きです。綺麗な衣装を着て、民族舞踊を学校で発表するのをとても楽しみにしていました。前日の夜スタッフのマヤウィーさんのところにやってきて、「明日、ちゃんと踊り見に来てね!」と念を押します。ところが、次の日の朝、学校の先生の都合で発表会が突然キャンセルになってしまいました。

がっかりしてしまったサラちゃんでしたが、マヤウィーさんと私たちに満面の笑顔で踊りを見せてくれました。

～ a cup of water お知らせ～

- 大阪府にNPO法人の申請をしています。現在審査中で問題がなければ5月末にNPO法人として活動できるようになります。
- 秋頃にバザーを予定しています。収益費をハッピーホーム支援と a cup of water の運営費にあてたいと考えています。古着や使用していない物品がありましたら、ご協力ください。